

(5) PCI を施行した救急車搬送患者の入院死亡率

分子：分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数

分母：救急車（病院救急車含む）で搬送され、医療資源を最も投入した傷病名が「不安定狭心症」、「急性心筋梗塞」、「再発性心筋梗塞」、「その他の急性虚血性心疾患」のいずれかで、PCI（経皮的冠動脈インターベンション・「経皮的冠動脈形成術」「経皮的冠動脈粥腫切除術」「アテレクトミー」「経皮的冠動脈ステント術」）を入院当日あるいは翌日に施行した退院患者数。ただし、以下の場合を除外する。

- ・「急性心筋梗塞」、「再発性心筋梗塞」、「その他の急性虚血性心疾患」の患者で、入院時に Killip 分類が「Class3」あるいは「Class4」であった患者
- ・入院時点で「心停止」が認められた患者

収集期間：平成 23 年 7 月～平成 23 年 12 月

PCI（経皮的冠動脈インターベンション）とは、心臓の冠動脈の狭窄あるいは閉塞部位を、カテーテルを使って拡張して治療する手技のことを言います。PCI をはじめとする近年の心筋梗塞治療手技の進歩により、急性心筋梗塞の救命率は大幅に改善されました。しかしながら、急性心筋梗塞が死に至りうる重篤な疾患であることに変わりはありません。梗塞の部位や広がりにより、不幸にして死亡退院になることも稀ではありません。死亡率は、各施設がどのような重症度の患者さんを受け入れる施設であるかによって大きく変わりますので、必ずしもその多寡が当該施設の医療の質を反映するものではありません。しかしながら、各施設がその値を作成し、施設間の差をもたらしている要因が何であるのかを検証することで、さらなる医療の質向上を図ることができます。それがこの指標を作成し、公開している理由です。

指標 14 : PCI を施行した救急車搬送患者の入院死亡率

医療機関名	割合
A	0.0%
B	2.1%
C	2.6%
D	3.4%
E	0.0%
F	0.0%
G	0.0%
H	0.0%
I	0.0%
J	0.0%
K	0.0%
L	0.0%
M	0.0%
N	0.0%
O	0.0%
P	0.0%
Q	0.0%
R	0.0%
S	0.0%
T	0.0%
U	0.0%
V	20.0%
W	0.0%
X	0.0%
Y	0.0%
Z	0.0%
AA	0.0%
AB	0.0%
AC	0.0%
AD	0.0%
AE	0.0%
AF	0.0%
AG	0.0%
合計	0.9%